



山ろうだより

山形県立山形聾学校
R7 第16号HP
令和8年1月23日



デフリンピック 陸上競技出場選手

さいとう たすく
～ 齋藤 丞さん、来校!! ～

1月16日（金）に、齋藤選手が山聾に来校しました。東京2025デフリンピックにおいては、陸上1500mと5000m決勝まで進みました。日本デフ選手権では、5000mで優勝、1500mで準優勝の記録をもつ実力選手です。齋藤選手は、平成29年度高等部1年生（寄宿舎生）として、山聾に在籍していました。今回の来校では、生徒達や教職員に笑顔で声をかけ一緒に写真を撮ったり、陸上部の部活動にも参加して走り方のアドバイスもしたりしてくれました。

最後に、職員室での挨拶では、「2029ギリシャ大会の出場を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。」と新たな決意を伝えてくれました。

これからもずっと応援しています！！

応援ポストカードを学校にいただきました



教員研修 自立活動研修会<1月6日(火)>

「社会自立を促すために聾学校での指導に必要なこと」を演題として公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者支援事業所所長 岩山 誠 氏から講話をいただきました。家庭と学校が連携した計画的な進路学習の大切さについて、改めて確認することができました。

※職員研修については、山聾HPの「校長室だより」に、他の研修についても詳しく掲載があります。ご覧ください。



■編集後記■

2026年の年が明けて早くも1か月が経とうとしています。本年もご協力とご理解のほどお願いします。1月上旬はグラウンドに雪がなく、雪遊びやスキー練習などが難しいときが多くかったです。通学には道路に雪がない方が安全ですが、雪国ならではの活動も楽しんでほしいと思うこの頃です。今年度、中学部保護者よりミニスキーなどの雪遊び用具を寄贈していただきました。学習で利用させていただきます。ありがとうございました。

さて、この時期は、年度のまとめの時期となります。2月27日（金）には、授業参観及び学校経営説明会を行います。今年度の学校評価や来年度の学校経営についてご説明できるように準備を進めております。引き続きよろしくお願いします。（文責：笹原）

